

## ◎報告

## 看護部活動報告

## —平成3年度—

## 三朝分院看護部

## 1. 教育活動

## 【院内研修】

(学習会)

看護記録の充実と看護の質の向上をめざして、看護記録自己評価表に基づき、受持ち患者の自己評価したものを資料として14回、21症例について学習会を行った。

(講演会—看護部)

9月「EKGの基礎と異常波の病態Ⅰ」

講師 御船先生

(講演会—分院)

8月「骨粗鬆症について」

講師 整形外科 井上 一教授

2月「薬物の相互作用と血中動態について」

講師 薬剤部副部長 五味田 裕教授

3月「胃の悪性リンパ腫について」

講師 病理学第二 赤木忠厚教授

(個人研究) 11月発表会

## ①会話のある看護を求めて

江間美津子、石湯和子、尾崎信子、吉尾慶子  
今年度の看護目標の一つに、「対話のある看護」をあげている、三朝分院の臨床看護の現状を直接看護時間11項目について分類、看護婦4名の三交替勤務、各勤務帯機能別(チームリーダー・注射係・検査係)に時間測定を行い考察した。直接看護時間の平均時間は35.9%であった。日本看護協会看護職能小委員会63年調査でしめた27.6%より高い結果が得られた。しかし、直接看護業務に追われ、患者1人に費やす会話の時間は、リーダーが意識的に行う平均1分であった。自己の看護に対する姿勢の再考を痛感した。

## ②よりよい看護をめざして

中村あけみ、高田信江、寺崎佳代、藤井洋子

患者のかかえる問題が看護婦と患者の間に差はないだろうか、忙しさに患者への気付き、心くばりを失いがちとなる。そこで患者の問題を25項目の看護診断をリストアップし、病棟看護婦23名のアンケート調査を3回、延べ患者数158名について調査し、患者の状況とニーズについて考察した。症状に対する問題よりも介護が必要とされるものが上位にあったことは高齢化社会でのケアの重要性を再認識した。

## ③当院における肥満食摂取患者の実態

中村寿美江

カロリー制限食を摂取している患者11名中9名について患者がかかえている問題と減量について調査を行った(6/1~8/30)。

糖尿病以外の疾患で肥満食を摂取している患者を対象に、減量の目的。目標。食生活の状況。入院の食事の満足度。治療食が原因のストレス。医師看護婦の励ましのことば。医師看護婦からの体重食事についての話題。血圧、コレステロール、トリグルの変化。体重減少分布等について聞き取り調査を行った。

減量の必要性を理解し、目標体重を設定し1日摂取量1,000~1,300kcalとし運動をして、間食をしない人は、殆どの人が減量のためのストレスはなく、12週間ぐらいで目標体重に近付くことができている。看護婦の拘りとして患者の努力を認め、励ましの声をかけること、同室者への協力を得ることのフォローも必要であること等を認識した。

## ④当院での三方活栓の汚染度を調べる

丸山厚子、前田恵子、山田修子、伊賀真由美  
近年IVHによる治療を受ける患者が増えている。清潔管理について三方活栓の細菌培養(ハートフュジョン培地)をおこない。輸液ラインの清潔操作

について検討した。

⑤産婦人科手術後看護のみなおし

入院生活を快適に過ごすために、手術前オリエンテーション、手術後の過ごし方についてアンケート調査を行い、手術前のパンフレットの改善と、「手術後の過ごし方」のパンフレットを作成した。

田熊正栄, 細田つる子, 黒田昭子  
石田美枝子, 西村伸子, 池田昭子

⑥習慣性流産既往妊婦の出産への援助

坂田旬子, 土海智穂

25才で結婚, 4回妊娠, 第1回8ヵ月で破水, 緊急帝王切開810g生後2ヵ月で死亡, 3回自然流産。32才5回目妊娠, 5週目から出産まで入院による正常な妊娠経過をたどり母子共に安全に出産をむかえることの出来た症例について考察した。

⑦入浴前後の血圧の変動について

森次喜代子

入院患者31名の入浴前後の血圧測定を行いその変動について考察した。

⑧ストレス解消にエアロビクスを試みる

増井悦子

身体的, 社会的, 内的ストレスを解消するためにエアロビクスを約4ヵ月間, 1回60分, 週1~2回行い有効であった。その目標達成についてまとめた。

⑨当院における看護婦によるストレス度

—職種別アンケートを行って—

福井由美, 藤井純子, 坂本香須美, 山本貞枝  
米原美根子, 能見真由美

結果は予測に反して看護婦のストレス度は標準的であった。また職種別には大差は見られなかった。解消法については発散的, 補給的方法が多くとられていた。ストレスの対処法について学習した。

【院外研修】

(県看護協会)

第1回 医療トピックス最近の医療知識を学ぶ

「C型肝炎」

講師 鳥大内科助教授 周防武昭先生

「インターベンショナルラジオロジ」

講師 鳥大放射線部助教授 沢田 敏先生

(5/27) 細田つる子

第2回 新人研修 専門職業人としての私の役割。看護協会の組織や目標を理解する。継続看護の必要性を理解する。

講師 県看護協会副会長 石賀聖子先生  
講師 県立看護専門学校教務主任

下田幸子先生

(6/7) 山田修子, 土海智穂

第3回 主任研修 主任のための役割意識とリーダーシップ

講師 日本総合研究所主任研究員

高橋啓子先生

(7/5) 中村寿美江, 高田信江

第4回 リーダー研修 中堅看護婦に必要なリーダーとしての役割を理解しリーダーシップが発揮できる。

講師 地域活動研究所 杉野元子先生

(7/25~26) 吉尾慶子

第5回 看護研究のすすめ方, まとめ方

講師 日赤看護大学教授 稲岡文昭先生

(7/27~28) 寺崎佳代, 坂本香須美

第6回 院内教育計画の立案から評価の方法を学ぶ

講師 立教大学教授 岡本包治先生

(8/7~8) 西村伸子

第7回 看護と性

性生理を理解し看護につなげる

講師 東京女子医科大学看護短大助教授

川野雅資先生

(8/20) 森次喜代子, 藤井洋子

第8回 不安の看護 日常生活における不安を理解し, 援助の方法を考える

講師 大阪教育大学非常勤講師

藤野久美子先生

(9/3) 福井由美

第9回 交流分析 まず自分自身を理解することから始めよう

講師 岡大教育学部助教授 水野正憲先生

(9/9~10) 石田美枝子

第10回 看護とカウンセリング よりよい人間関係を築くために看護に生かすカウンセリングを学

ぶ。

(12/11~12) 江間美津子

- 講師 多摩全生園ケースワーカー  
白井幸子先生  
(9/20) 尾崎信子
- 第11回 事故と法律 最近の医療事故と法的責任  
を知り看護業務の中へ生かす  
講師 日本看護協会常任理事 杉谷藤子先生  
(10/25) 石湯和子
- 第12回 婦長研修 中間管理者の職責を果す。看護  
管理者の自己能力の拡大をはかる。  
講師 厚生省保険政策看護課長補佐  
大野絢子先生  
講師 鳥取県看護専門学校教務主任  
下田幸子先生  
(10/26) 黒田昭子, 賀須井捷子, 高田信江
- 第13回 老人を寝たきりにしないための看護 老人  
が生き生きと楽しく療養できるよう考え学習す  
る。  
講師 津山環境保健所作業療法士  
坂井蓉子先生  
(11/11) 池田昭子
- 第14回 看護過程 事例を通して看護過程を学び、  
看護診断力や実践能力を養う  
講師 筑波大学医療短期大学部教授  
高木永子先生  
(11/20~21) 高田信江, 伊賀真由美
- 第15回 看護の立場からみた福祉 社会福祉制度  
と看護の役割を考える。  
講師 中部福祉事務所福祉士 村山 繁先生  
講師 日赤ソーシャルワーカー  
富谷とし子先生  
倉吉病院 吉岡千尋先生  
(11/29) 田熊正栄, 山田修子, 藤井純子
- 第16回 准看研修 よりよい看護をするために必要  
な知識を深める。  
呼吸器疾患と看護 肺癌を中心に  
講師 鳥大病院 川崎雄司先生  
鳥大病院 田中久代先生  
循環器疾患と看護 虚血性心疾患を中心に  
講師 鳥取中央病院 坂本雅彦先生  
鳥取中央病院 土橋リン子先生
- (その他研修会)  
鳥取県看護研修センター竣工記念講演会  
「いのちと看護」  
講師 ノンフィクション作家 中島みち先生  
(5/19) 増井悦子  
「リウマチ性疾患を理解するために」  
—基礎療法から人工関節まで—  
講師 鳥大助教授 豊島良太郎先生  
(6/2) 西村伸子, 伊賀真由美  
「肺理学療法—排痰法, 呼吸訓練」  
講師 長崎大学医療技術大学部助教授  
千住秀明先生  
(6/8) 石湯和子  
「看護の動向について」  
講師 日本看護協会理事 南野知恵子先生  
(6/9) 藤井洋子, 坂本香須美  
「妊娠・出産に対する意識の変化」  
講師 鳥大非常勤講師 渡部容子先生  
(6/16) 永江智穂
- 県病院協会看護部会  
「最近の乳癌治療」  
講師 智頭病院長 神波澄幸先生  
(6/20) 黒田昭子  
「リハビリテーションについて」  
講師 皆生温泉病院長 大杉 實先生  
(2/6) 黒田昭子
- 第7回看護情報システム研究会  
「未来の看護システム」  
講師 鹿児島大学学長 井形昭弘教授  
(6/22) 吉田順子
- 日本アレルギー協会中国支部(勝山)  
「喘息教室夏季教室」(7/26~30) 中村あけみ  
中国四国地区成人看護研修会  
「高度医療と捕虜現象」  
講師 鳥取赤十字病院内科副部長  
徳永 進先生  
「脳死・臓器移植と生命倫理」  
講師 小倉記念病院院長 武下 浩先生  
(11/12) 賀須井捷子, 西村伸子, 細田つる子  
「看護に望むもの」

- 講師 鳥取女子短期大学 山田修平先生  
(11/13) 吉田順子  
「臨床の場における家族ケアを考える」  
講師 神戸大学付属病院看護部長 新道幸恵先生  
「放射線科における最新の治療と診断」  
インターベンショナル・ラジオセラピーについて  
講師 鳥大放射線科助教授 沢田 敏先生  
(11/14) 吉尾慶子, 永江智穂  
「終末看護の中で私達に求められるもの」  
講師 聖母病院教育婦長 寺本松野先生  
(11/15) 黒田昭子, 森次喜代子, 丸山厚子  
米原美根子  
鳥取県看護協会中部地区支部研修会  
「精神講話」 講師 大覚院 中村見生先生  
(10/27) 増井悦子, 伊賀真由美, 奥田きく枝  
中信寿美枝  
「女・妻・母・そして」  
講師 鳥取短大教授 山田修平先生  
(12/13) 藤井洋子, 増井悦子, 藤井純子  
中山イツ子, 伊賀真由美  
県看護連盟研修会  
「21世紀に向かう看護の役割」  
講師 前看護連盟会長 大森文子先生  
(1/18) 黒田昭子, 賀須井捷子, 中村寿美江  
寺崎佳代  
県看護協会中部地区支部管理者研修会  
「訪問看護の動向及び地区事業について」  
講師 県看護協会事務局 浜崎政枝先生  
(3/10) 賀須井捷子  
看護婦職能研修会  
「これからの看護婦に求められるもの」  
講師 日本看護協会理事 杉谷藤子先生  
(3/14) 高田信江, 福井由美, 中村あけみ  
能見真由美, 黒田昭子  
第22回 日本看護学  
看護管理学会(横浜市)  
業務管理, 人事, 労務管理, 看護サービスの向上, 看護職員の資質向上, 能力開発に関するもの等  
(7/23~24) 中村寿美江
- 看護総合学会(金沢市)  
基本的看護にかんするもの。人間関係, 日常生活の援助, 看護記録等看護と社会に関するもの。  
看護の社会的評価, 看護倫理等, 看護の各領域に共通するその他の課題, ターミナルケア等  
(8/22~23) 寺崎佳代, 伊賀真由美  
老人看護学会(熊本市)  
老人の生きがい, 生理的, 心理的特性に関するもの, 疾病をもつ老人の看護, 日常生活動作の低下した老人の看護, その他老人看護の諸問題に関するもの等  
(10/3~4) 西村伸子, 丸山厚子  
医学書院看護セミナー  
「老いの見方, 感じ方」  
講師 生活とリハビリ研究所 三好春樹先生  
(10/3) 西村伸子, 丸山厚子  
第29回山陰滅菌消毒研究会(米子市)  
手術器械器具の取扱いについて  
瑞穂医科工業KK  
外国にみる業務報告  
器具, 内視鏡, 動力式外科器具の手入れ  
滅菌と消毒 日音医理科器械製作所  
感染防止対策マニュアル作成の基本的構想  
講師 鳥大医学部付属病院 藤井 昭先生  
(9/28) 賀須井捷子  
第6回日本医科器械学会医療用不織布研究会  
「医療用不織布をめぐる諸問題」  
講師 東京大学手術部 小林寛伊先生  
「国立大学病院における不織布の使用状況の変遷」  
調査報告  
講師 島根医科大手術部 田中章生先生  
(11/16) 賀須井捷子  
第30回山陰滅菌消毒研究会(島根県)  
「感染対策専門看護婦(仮称)の必要性」  
一院内感染症防止におけるナース役割—  
講師 阪大病院婦長 三宅寿美先生  
(3/14) 賀須井捷子  
在宅酸素療法講演会(米子市)  
特別講演「呼吸不全の肺循環障害」  
講師 北大内科教授 川上義和先生  
(2/15) 吉田順子

## 2. 業 務

カードックスの評価, 看護手順の見直し, 業務改善(電算機による患者給食食数集計表の利用), 看護記録1号紙(情報収集)の検討, 看護助手業務の見直し, 各グループごとに評価, 改善中

## 3. 患者教室

患者同志及び医療職員とのコミュニケーションを深め, 心地良い有意義な入院生活を送ることを目的に患者教室を開催している。

## 【喘息教室】

毎月第2, 4水曜日17:00~17:30

4月~3月延べ患者参加者数 234名

係り Dr 御脚, 光延, Ns 福井, 坂本

- 4.10 「喘息と吸入療法」(ビデオ) 15名  
 「喘息とステロイド吸入薬」
5. 8 患者同志のミーティング 7名  
 退院後どうして再入院をくり返してしまいか。今回の入院の原因となったことは何か。今後どのようにすればくり返す事なく予防できるか等。 7名
- 5.22 「喘息と生活環境」(ビデオ) 7名
- 6.12 喘息死について 11名
- 6.26 「喘息と気管支閉塞」(ビデオ) 12名
- 7.10 気管支喘息とは 12名
- 7.24 懇親会(スイカを食べながら) 9名
- 8.28 喘息の治療Ⅰ「根本療法」 6名
- 9.11 喘息の治療Ⅱ「対症療法」 11名  
 一内服薬・吸入一
- 9.25 喘息の治療Ⅱ「対症療法」 16名  
 一注射薬・治療浴・鍛練一
10. 9 喘息発作の予防 10名
- 10.30 呼吸器の仕組み, 咳と痰, 呼吸器の防御機構, 横隔膜の役割 呼吸器の主な病気の説明 16名
- 11.27 呼吸訓練一上手な呼吸の仕方を覚えましょう, 体位ドナージ, 家族に手伝ってもらって体位ドナージを行う時, 弛緩体操, リラックスして緊張を解きましょう, 運動療法。 15名
- 12.11 気管支喘息とは 14名
- 12.24 反省会, クリスマス会 10名

1. 8 気管支喘息の治療Ⅰ 12名
- 1.22 気管支喘息の治療Ⅱ対症療法 14名  
 一内服薬・吸入一
- 2.26 気管支喘息の治療Ⅱ対症療法 16名  
 一注射薬・治療浴・鍛練・感冒対策一
- 3.11 喘息発作をどう防ぐか 21名

## 【糖尿病教室】

毎月一回第3月曜日14:00~15:00

参加者延べ144名(入院56名, 外来88名)

係り Dr 斎藤, 古藤, 本家, 谷水

栄養士一林本

Ns一森次, 増井, 田熊 Pt一上本

昨年度のプログラムに従い, 今年はDM手帳の活用により患者さん個々の病気に対する自覚と闘病意欲につながり有効であった。栄養指導指示表は集団指導ではできない個人指導に効果があった。プログラムと参加者数を下記に示す。

- 5.20 糖尿病とは, 糖尿病はなぜ怖いのか 17名
- 6.17 食事療法・Ⅰ 20名
- 7.15 食事療法・Ⅱ 18名
- 8.19 糖尿病食試食会 17名
9. 9 糖尿病の合併症 10名
- 10.21 運動療法の基礎と実際 9名
- 11.20 糖尿病の良いコントロール 10名  
 糖尿病の検査について
- 12.18 日常生活について 12名
- 1.22 糖尿病食試食会 12名
- 2.19 薬物療法・内服薬について 9名
- 3.18 薬物療法・インシュリンについて 10名

## 【リウマチ教室】

毎月第2, 4木曜日17:00~17:30

参加者数延べ23回 187名

係り Dr 貴谷 Ns 西村, 伊賀

Pt 上本 栄養士一林本

- 4.11 リウマチ教室の紹介, 自己紹介 9名
- 4.25 リウマチの治療, 体験談 8名
5. 9 慢性関節リウマチとは 12名
- 5.30 食事と体重について 11名
6. 6 困っていること, 気の付いたこと 11名
- 6.20 困ったこと, 自分はこうしている 4名

7. 4	リウマチと呼吸器疾患	8名	12.19	クリスマス会	10名
7.18	健康と栄養	8名	1. 9	RA教室の目的	8名
8. 1	冷房について	7名	1.23	温泉療法	8名
8.15	体験談	4名	2. 6	PAの治療について	10名
9. 5	骨粗鬆症, RAの診断	8名	3. 5	腰痛教室(ビデオ)	11名
9.19	RAと検査	8名	3.19	茶話会	6名
10. 3	体験談	6名			
10.17	自助具について	7名			
11. 7	履物, くつの工夫	9名			
11.21	RAと手術について	6名			
12. 5	運動と筋肉について	8名			

患者教室は、患者と教室スタッフとの交流によりお互いの立場で理解と信頼関係を深めあい、医療のインフォームドコンセント、入院患者のQOLへの一端となるものとおもわれる。関係者のご指導、ご協力に感謝いたします。